

## 29年度 重点取組事項 ② 電気容量の増強、機能強化

### 場内事業者独自の機器設置や設備更新に対応

#### ■ 目的

- 卸売場や仲卸売場などの電気容量の増強と機能強化を進め、場内事業者の独自の機器設置や設備更新に対応します。

#### ■ 現状・課題

- 当市場では、関西電力より **77,000V** の特別高圧電力を直接受電し、特別高圧受変電設備で **6,600V** に変換の上、市場内に **5** ヶ所ある電気室に送電
- 各電気室には、高圧受変電設備が設置されており、**6,600V** で受電した電力を実用電圧である **100V・200V** に変換し、卸・仲卸売場等の市場内各施設に送電
- 当該高圧受変電設備は、昭和 **51** 年に設置されて以来 **40** 数年が経過し、耐用年数を超過しており老朽化が顕著
- 機器の旧型化により修理部品が不足し、対処療法的な復旧にも限界

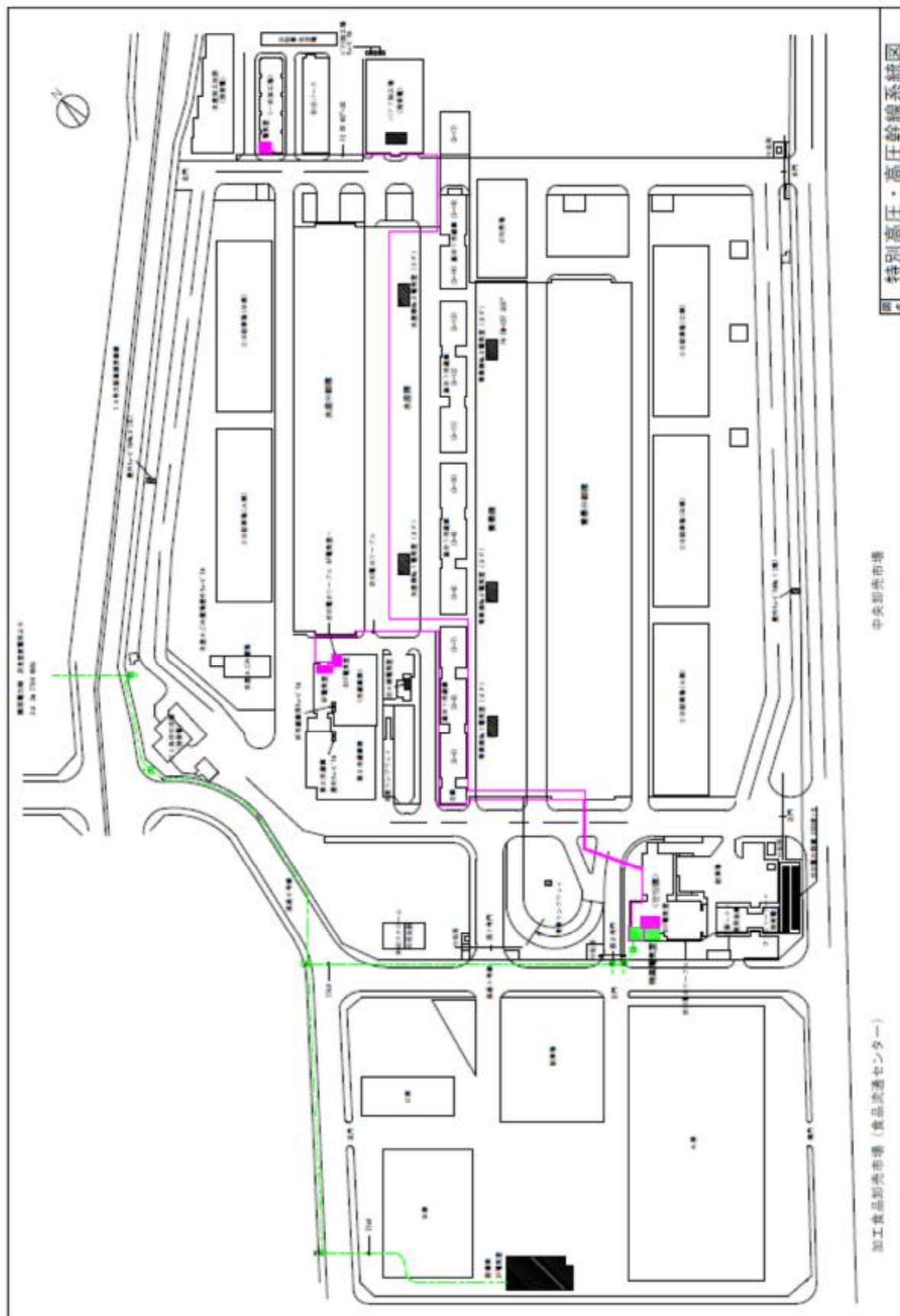
#### ■ 改善策

- 府において電気容量の増加と機能強化に向け、高圧受変電設備（冷蔵庫棟・管理棟・一般加工棟）の改修工事を実施 【工事費：2億5,051万円 工期：平成29年6月～30年3月】
  - ▶冷蔵庫棟
    - ・6F電気室受変電設備 1,050kVA、B1F電気室受変電設備 310kVAを撤去
    - ・6F電気室受変電設備 1,050kVAを新設
    - ・直流電源装置の撤去、新設
    - ・上記に伴う高圧配線、中央監視設備改修及び仮設工事
  - ▶管理棟
    - ・既存受変電設備 1,125 kVAを撤去し、受変電設備 850 kVAを新設
    - ・上記に伴う高圧配線、中央監視設備改修及び仮設工事
  - ▶一般加工棟
    - ・既存受変電設備 275 kVAを撤去し、受変電設備 350 kVAを新設
    - ・上記に伴う高圧配線、中央監視設備改修及び仮設工事
- ⇒ 写真参照 (P10～P13)

#### ■ 今後の取組み

- **30**年度改修工事予定  
府：直流電源設備改修（青果棟）【予算案：8,800万円】  
指定管理者：青果仲卸棟（B・Cブロック）の低圧幹線設備改修【予算案：1億2,096万円】  
（府の依頼により指定管理者が実施）
- **31～33**年度改修工事予定【工事費総額：約2億8,500万円（予定）】  
府：高圧受変電設備改修（西冷蔵庫）、高圧幹線設備改修（冷蔵庫棟発電系統）、  
中央監視設備改修（冷蔵庫棟）

# ▶特別高圧・高圧幹線系統図



▶冷蔵庫棟：電気室受変電設備

<改修前>



<改修後>



## ▶冷蔵庫棟：直流電源装置

<改修前>



<改修後>





▶管理棟：電気室受変電設備

<改修前>



<改修後>



▶一般加工棟：電気室受変電設備

<改修前>



<改修後>

